



最先端を、人間らしく。

スターティアホールディングス株式会社
(東証一部 3393)

2020年3月期 第1四半期 決算説明資料

会社概要

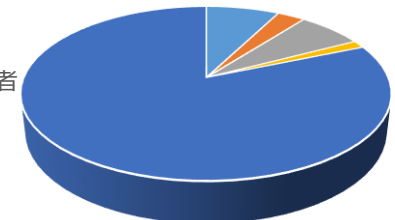
社 名	スターティアホールディングス株式会社
住 所	東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モリス19階
設 立	1996年2月
上 場	東証一部（2014年2月28日） 東証マザーズ（2005年12月20日）
代 表 取 締 役	本郷 秀之
グ ル ー プ 会 社	連結子会社：11社、持分法適用関連会社：3社
従 業 員	連結623名（2019年3月31日現在）
決 算	3月31日
資 本 金	8億2,400万円（2019年3月31日現在）
発行済株式数	10,240,400株（2019年4月30日現在）
株 主 数	3,152名（2019年3月31日現在）



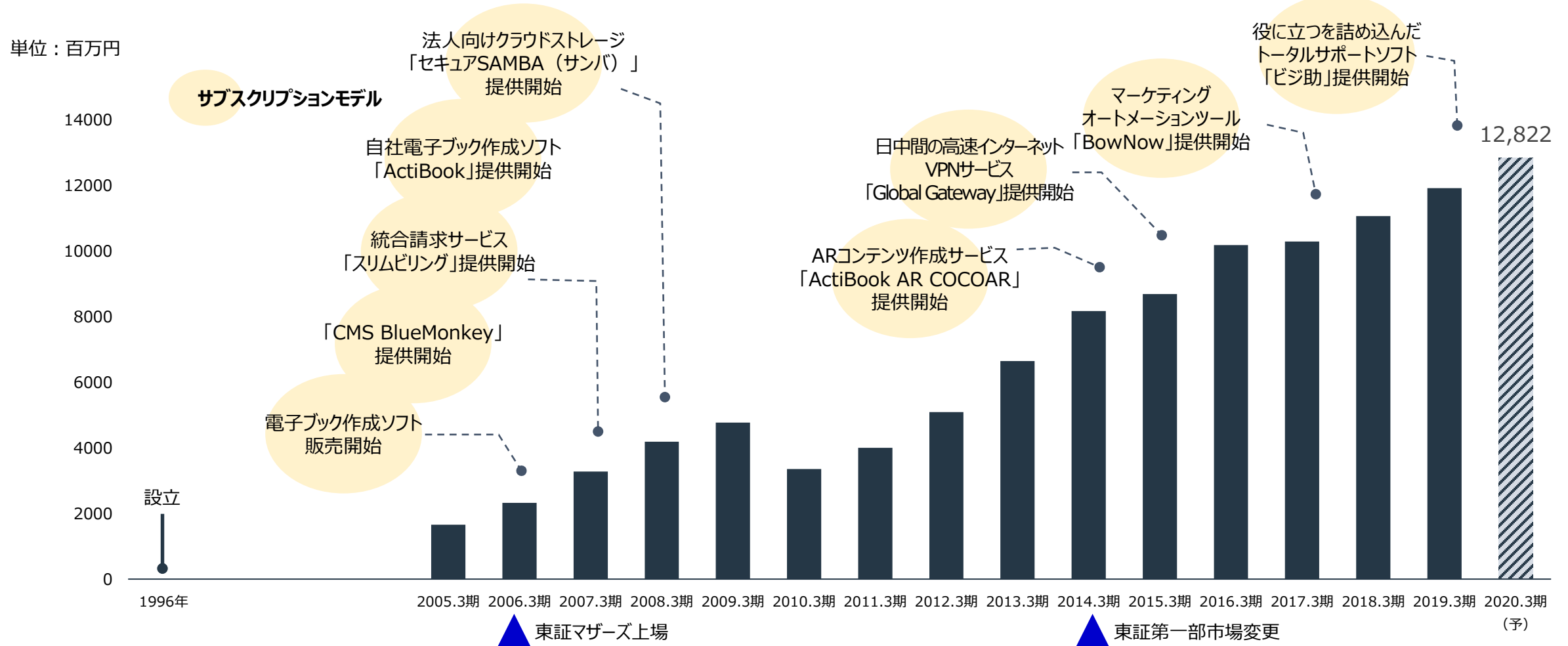
代表取締役社長
兼 グループ最高経営責任者
本郷 秀之
1966年5月生
1996年当社設立し現在に至る
（当社株式保有41.7%）

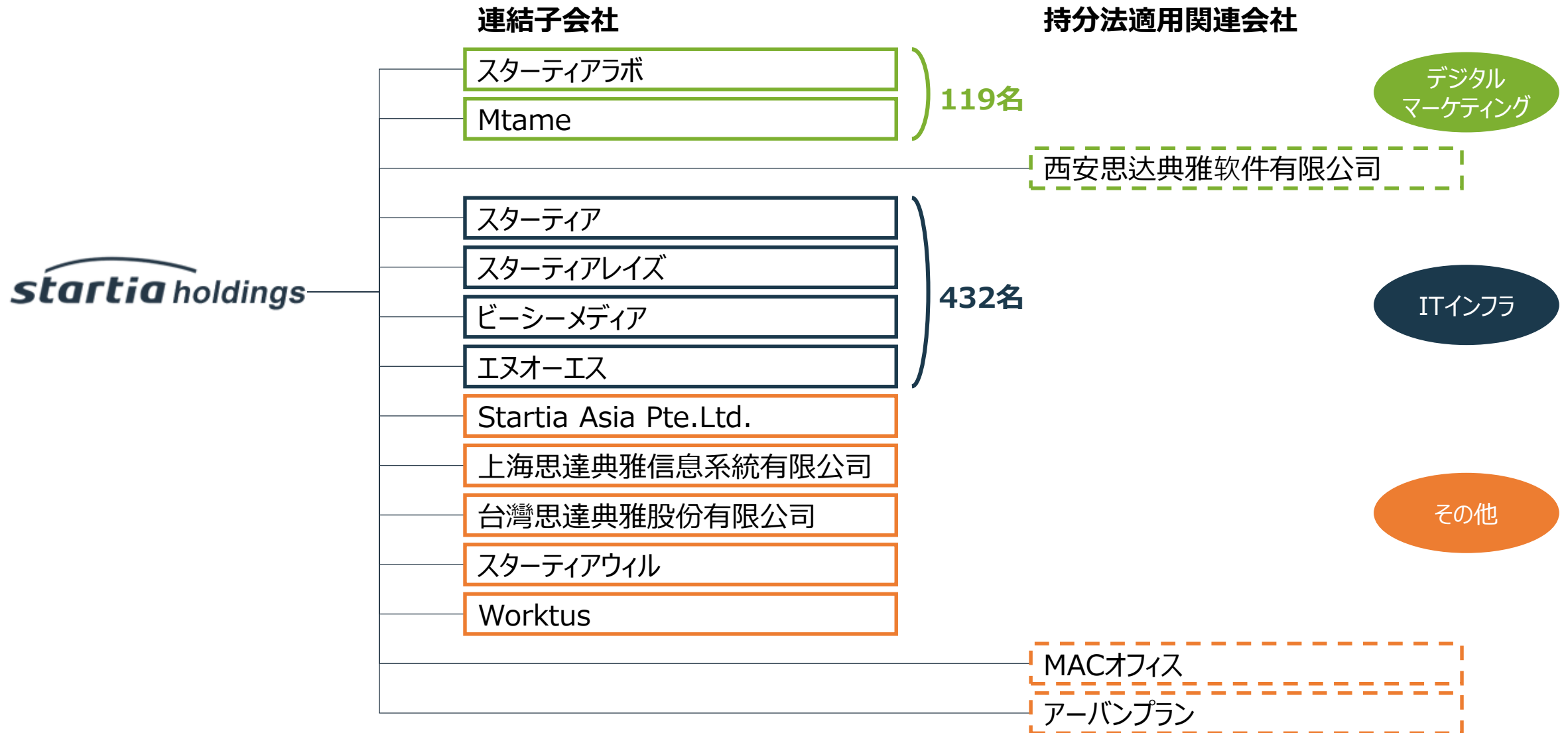
2019/3末株主構成

- 金融機関
- 金融商品取引業者
- その他法人
- 外国法人等
- 個人その他



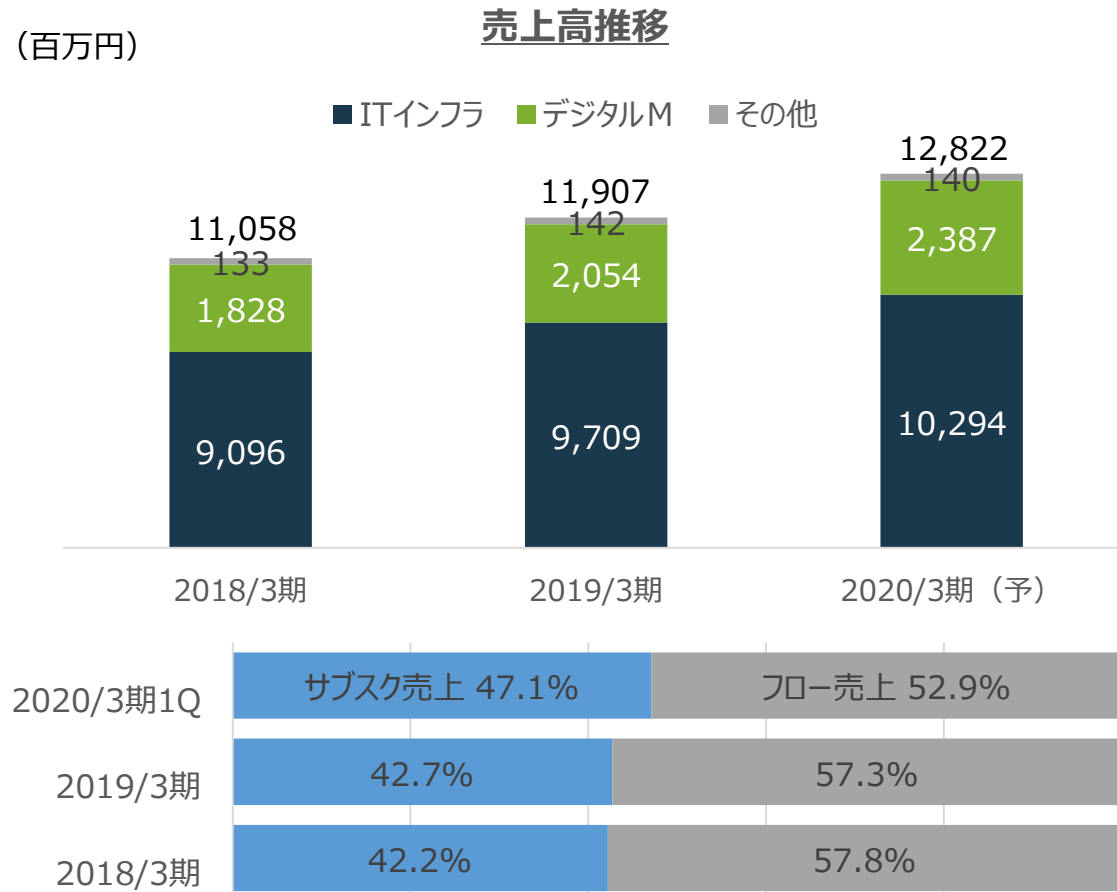
時代のニーズを先取りしたサービスをサブスクリプションモデルで提供





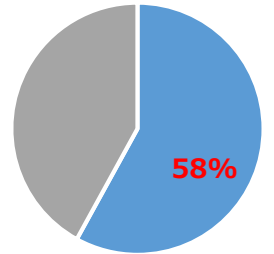
成長戦略

安定成長するITインフラ事業を基盤にデジタルマーケティング事業拡大に注力



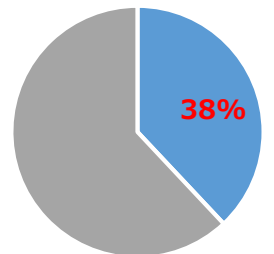
1. デジタルマーケティング事業の飛躍的拡大

- 第2のコア事業
- 圧倒的No.1確立に向けシェア拡大期
- 社員119名
- 前期：[サブスク売上58%](#)、利益率7.5%



2. ITインフラ事業の持続的成長

- コア事業
- 安定且つ継続的成長
- 顧客基盤2万5千社超
- オーガニック + M&A
- 社員432名
- 前期：[サブスク売上38%](#)、利益率3.7%

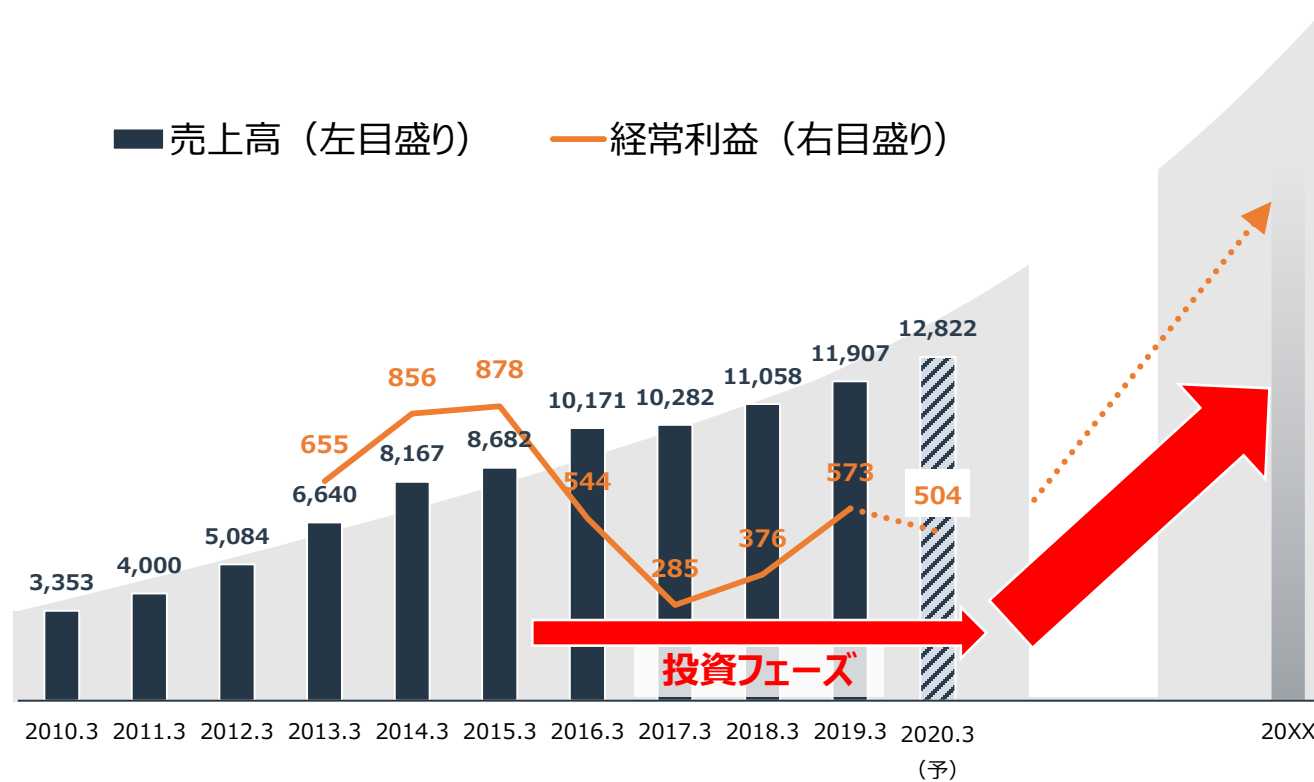


2019年3月期

安定成長するITインフラ事業を基盤にデジタルマーケティング事業拡大に注力



デジタルマーケティング事業への投資フェーズから収益化フェーズへ

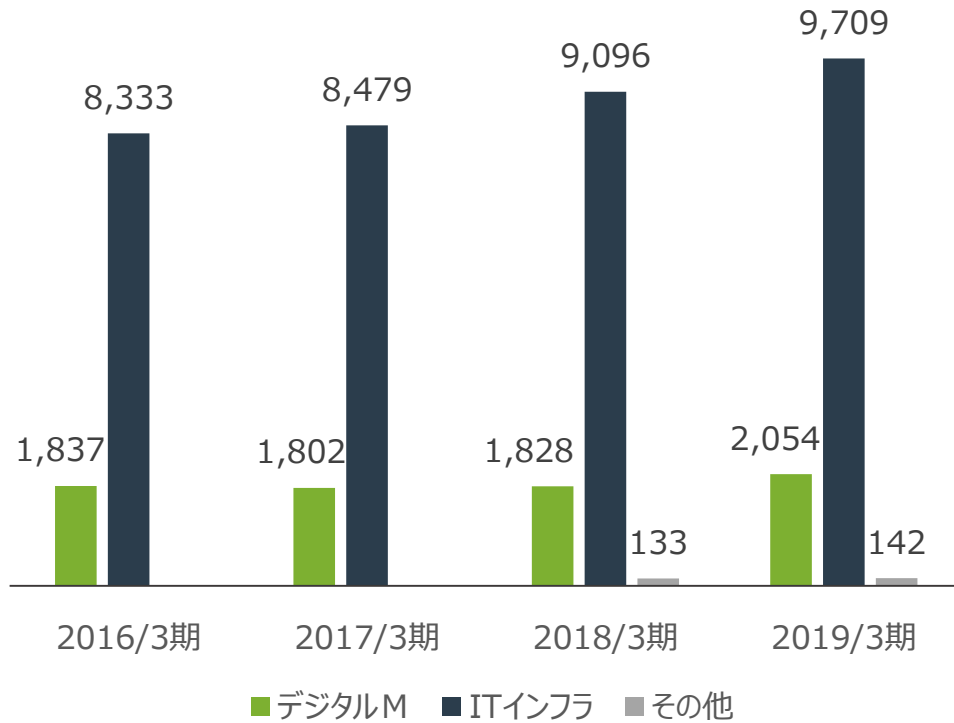


ITインフラ事業での利益をデジタルマーケティング事業の拡大に向け投資
独自ラボでの、企業向け効率化ツール（マーケティングオートメーション、電子ブック、AR等）開発および、導入のハードルを下げるマーケティング戦略を継続

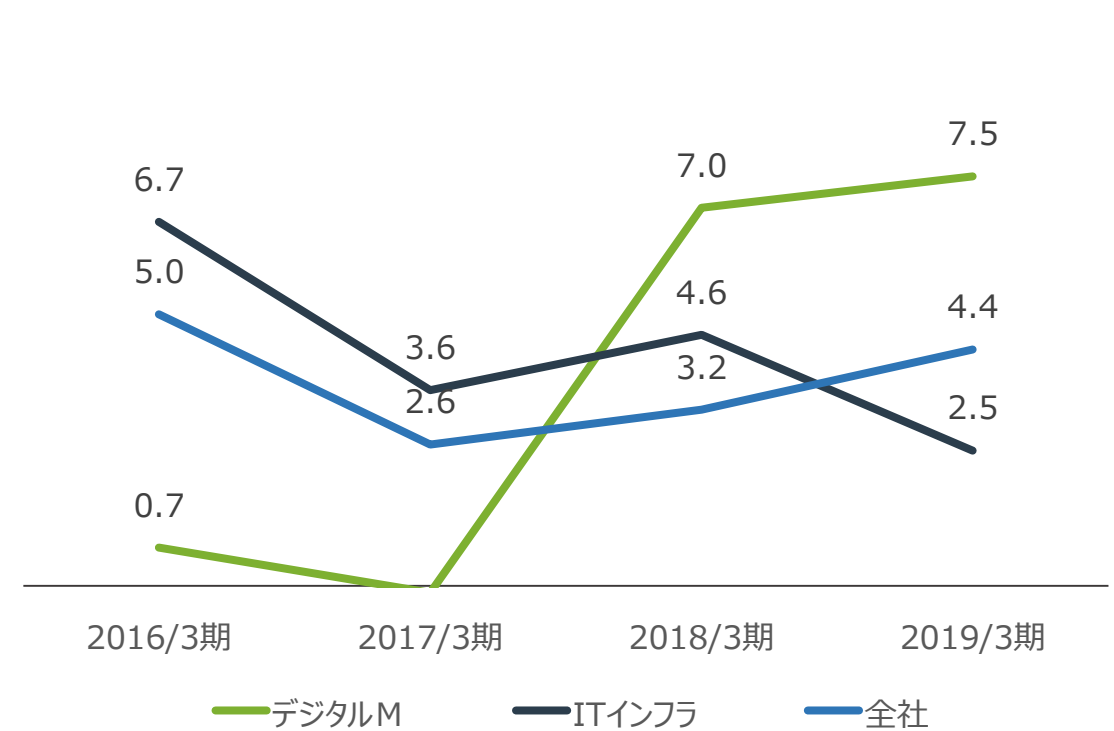
刈り取り時期へ

デジタルマーケティング事業の拡大により高収益化を図る

セグメント別売上推移



営業利益率（%）



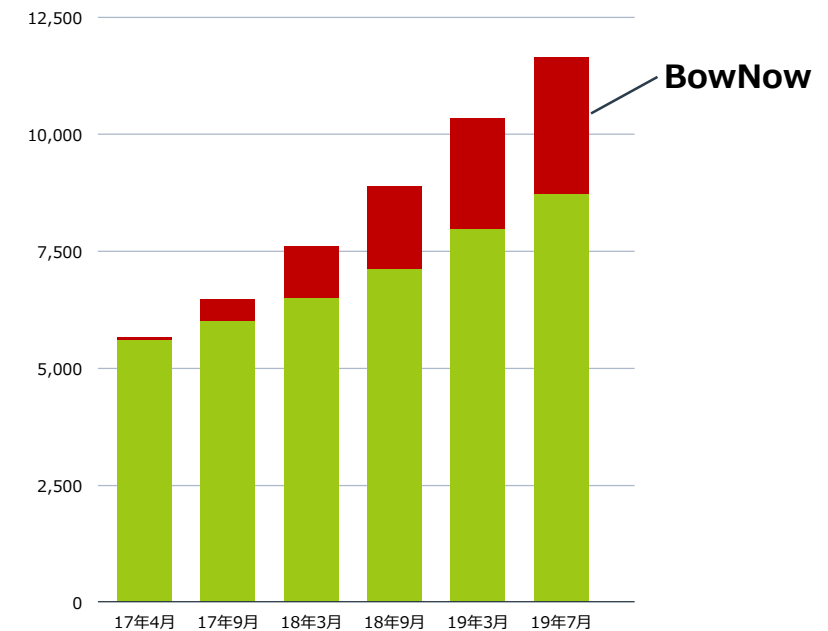
第二情報システム部門として 中小企業のデジタルトランスフォーメーションをサポート



情報の利益化を実現し アフターデジタルをリードするデジタルマーケティングツール



サブスクリプション型サービス受注件数（累計）



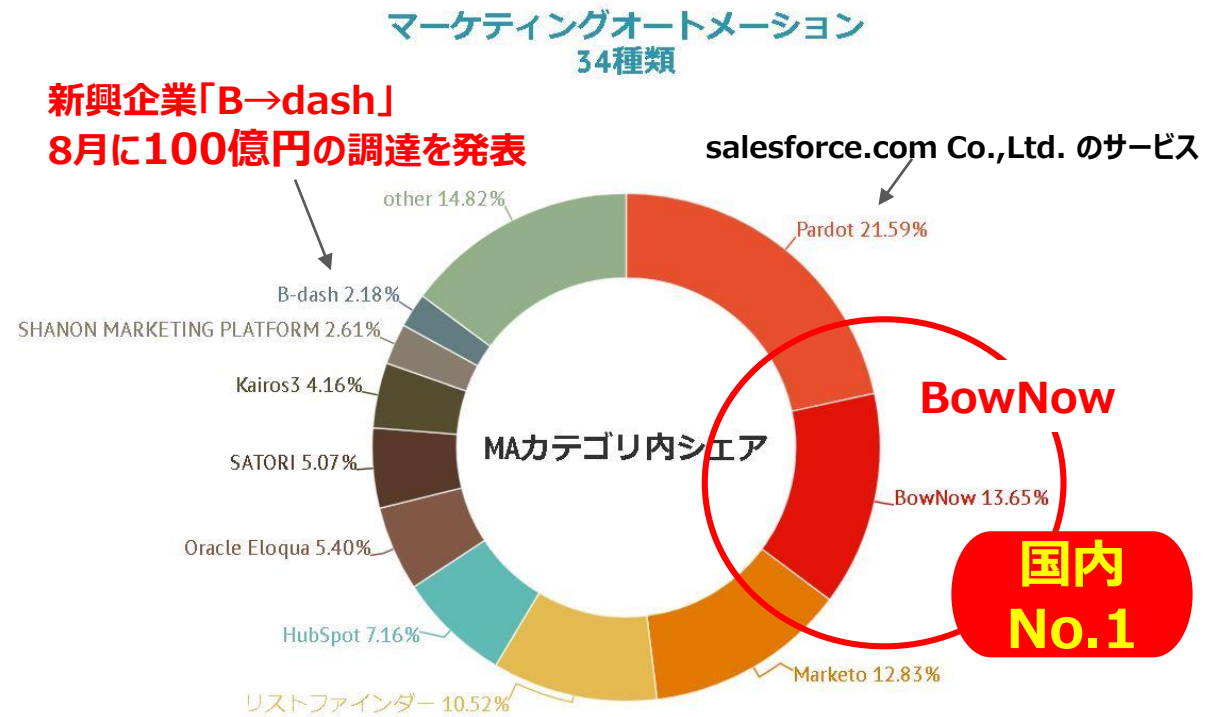
マーケティングオートメーションツール「BowNow」導入社数3,000社突破！ 国内プロバイダーでは1位。

マーケティングオートメーションツール「BowNow」の導入社数が2019年8月末日において3,000社を突破。

株式会社DataSignが発表の「DataSign Webサービス調査レポート 2019.8」では、**マーケティングオートメーション34種類の中で、国内プロバイダー1位**（全体では2位）。

「BowNow」

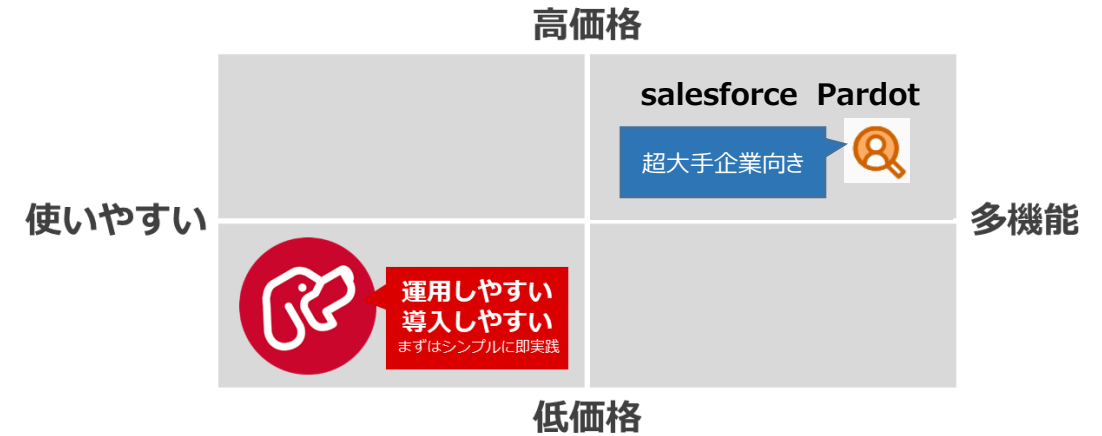
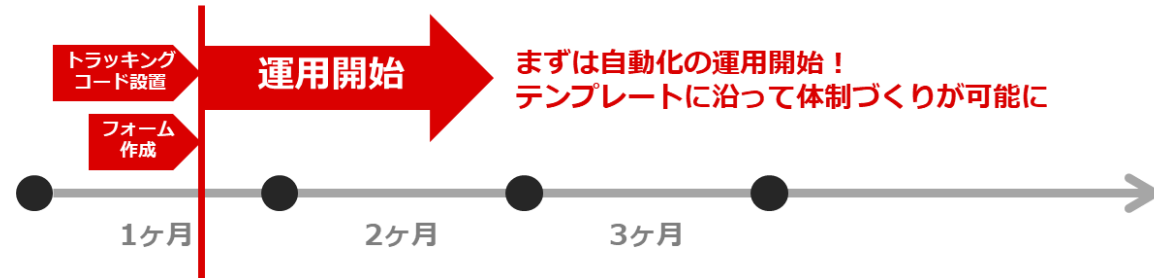
2016年2月に提供を開始。中堅中小企業を中心に営業展開。2017年7月より機能を一部制限したフリープランの提供、2018年11月にはMAツールの「スコアリング」および「シナリオ設計」をテンプレート化した新機能「ABMテンプレート」の提供などにより、約3年半で導入実績3,000社以上。



※出典：株式会社DataSign「DataSign Webサービス調査レポート 2019.8」
<https://datasign.jp/blog/datasign-report-docodoco-20190831/>

3,000社を超える実績で培ったノウハウをテンプレ化「シンプル」「使いやすい」

□ BowNow



□ 一般的なマーケティングオートメーションツール



日本経済新聞社提供するスマートフォン向けARアプリ「日経 AR」に スターティアラボのAR技術が採用（2018年11月）

「日経 AR」を用いて、紙面等に掲載された指定の「マーカ―」を読み取れば、ARコンテンツが現れます。
たとえば編集記事のより詳しい解説動画を見ることが可能になります。

アプリの開発においては、スターティアラボのARサービス
「COCOAR SDK」が採用されました。※

※データマネジメントとして株式会社オプト（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 CEO：金澤大輔）の
アプリデータマネジメントツール「Spin App」が採用されています。日本経済新聞社、オプト、スターティアラボの3社
は連携し、今後、機能を強化して、さらに使いやすく楽しいアプリを目指します。具体的には、スタンプラリー機能を搭
載するなど、より活用の幅が広がる予定です。



【アプリの使い方】



【アプリのアイコン】



アニメ『ワンピース』20周年 「宴島 2019 真夏のモンキー・D・ルフィ島」にARアプリ「COCOAR2」が採用！

「宴島 2019 真夏のモンキー・D・ルフィ島」は、横須賀市、トライアングルの主催。

音楽・スポーツ・エンターテインメント都市」を目指す横須賀市が、横須賀・三浦半島を盛り上げるべく実現した企画の一環。

アニメ『ワンピース』20周年、カレーの街よこすか20周年、京急電鉄創立120周年事業に合わせ、横須賀市および京急沿線を『ワンピース』にちなんで「宴」の舞台として実施するイベント。

東京湾に浮かぶ「猿島」が期間限定で『モンキー・D・ルフィ島（猿島）』に名称を変更。

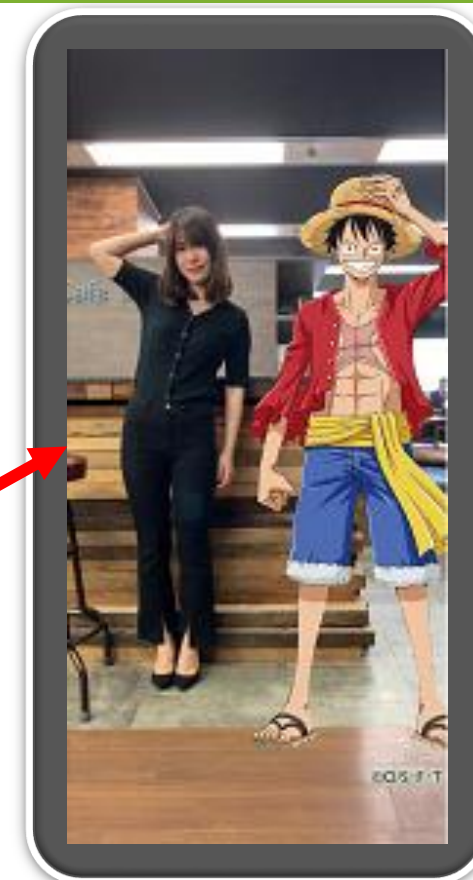
「麦わらの一味」が島を丸ごとジャックして「宴」を繰り広げるという設定。

横須賀市内そして猿島に散らばるARマーカーを集めるデジタルスタンプラリーが実施される。

20箇所以上に散らばるAR用のマーカー画像を探し、「COCOAR2」アプリをかざすと、『ワンピース』のキャラクターがスマートフォン上に現れる。また「兄弟盃」などの名場面を背景とともに写真に収めることが可能。

本デジタルスタンプラリーは週刊少年ジャンプの誌面に先行のARマーカーも掲載された。

「宴島 2019 真夏のモンキー・D・ルフィ島」公式サイト：<https://utagejima.jp/>



WebブラウザからのARマーカの認識技術において特許出願

WebAR「LESSAR（レッサー）」

「LESSAR」は、アプリ不要のARコンテンツが制作できるソフトウェア。「LESSAR」を用いて作成したARでは、**スマホアプリのダウンロードは不要**。エンドユーザーはスマートフォンでQRコードをかざす、もしくは専用のURLにアクセスすると、ARマーカを読み取るブラウザが起動し、**ブラウザ越しにARマーカをかざすだけで、ARコンテンツが表示される**。

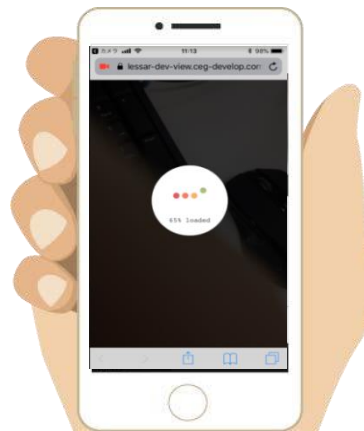
STEP1

WEBサイトリンク or QRコード読込



STEP2

カメラ起動

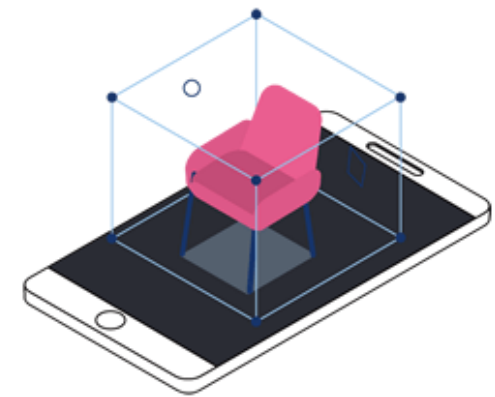


STEP3

マーカをかざす



＼AR出現！！／



 LESSAR

専用アプリ不要 QRコードからARコンテンツにアクセス

お手持ちのスマートフォン、
タブレットでお試ください



CMS Blue Monkey 2018年度ベンダー別売上金額（予測） 市場第1位

「CMS Blue Monkey」が従業員数100名未満の企業における2017年度ベンダー別売上金額および2018年度ベンダー別売上金額（予測）市場シェア1位！製造業においても2017年度ベンダー別売上金額および2018年度ベンダー別売上金額（予測）において市場シェア1位



導入実績

独立系ITコンサルティング・調査会社である株式会社アイ・ティ・アールが2019年6月に発行した「ITR Market View ECサイト構築／CMS／SMS送信サービス／電子契約サービス市場2019」の「CMS市場－従業員100人未満：ベンダー別売上金額推移およびシェア」において、2017年度のベンダー別売上金額および2018年度ベンダー別売上金額（予測）で市場シェア1位、「CMS市場－製造業：CMS市場－製造業：ベンダー別売上金額シェア」においても、2017年度のベンダー別売上金額および2018年度ベンダー別売上金額（予測）で市場シェア1位。

※出典：ITR「ITR Market View：ECサイト構築／CMS／SMS送信サービス／電子契約サービス市場2019」

「CMS Blue Monkey」は、使いやすい操作性と充実したサポート体制、多様なセキュリティ対策により、

導入実績 **1,600社**以上（2019年3月末時点）



大手企業を筆頭に7,000社超に導入

三菱スペース・ソフトウェア株式会社

日東精工株式会社

RECRUIT

SEGA
Games

JAL ABC

SSS
Shared Solution Service

FUTURE
ONE

hoju
Professional

LIG

イワキ 株式会社

Benesse

SANWA

MakMax
太陽工業株式会社

Marubeni
Chemix

MI7®

日本冶金化学工業株式会社
NIPPON YAKIN KAGAKU KOGYU CO., LTD.

株式会社 アイ・ディー・エス

クボタケミックス

en 一般財団法人
エン人材教育財団

FUJIKURA
COMPOSITES

MIZUHO みずほフィナンシャルグループ

ITOCHU 伊藤忠ケーブルシステム株式会社

エフピコ

SAISON
CARD INTERNATIONAL
Credit Saison Co., Ltd.

ARサービス「ココアル」
COCOAR
活用事例ご紹介

2019年7月末登録コンテンツ数
64,935件

江崎グリコ×コロプラ コレクションカード
(太成二葉産業)



樺坂46×SHIBUYA109 POPUP STORE
オープンイベント



ねぶた祭り (東奥日報社)



高いポテンシャルを持つデジタルマーケティングツール

- 数年間の開発・改良によるユーザビリティ
・新機能の継続開発
- 国内No.1シェアの導入企業数
・大手企業導入実績からの横展開と、サブスクモデルによる中堅・中小展開への展開
- 既存ITインフラ事業顧客2.5万社へのアプローチ



アジアNo.1 ITソリューションプロバイダーへ



デジタルマーケティング事業
第2の柱に異次元成長

ITインフラ事業
安定成長+M&A

2020年3月期

2020年3月期 第1四半期 事業報告

4月	デジタルM	マーケティングオートメーションツール「BowNow」導入社数2,500社突破！DataSign社の調査レポートで2位、国内プロバイダーでは1位に。
	デジタルM	WebブラウザからのARマーカの認識技術において特許出願 アプリ不要でAR体験が実現できる「LESSAR（レッサー）」において、オリジナルマーカの使用が可能に。
	デジタルM	ダイエー×サンリオの改元記念イベント「動くフォトフレームで記念撮影しよう!!」にてアプリ「COCOAR2」が採用！
5月	デジタルM	博報堂 D Y メディアパートナーズとスターティアラボ、「AR広告™」の提供を開始。
6月	デジタルM	3Dホログラムで「V6」が絵本の中からスマートフォン越しに登場！V6と共に絵本のストーリー展開を楽しめる！
	デジタルM	TVアニメ「スタミュ」第3期放送を記念したリアル謎解きゲーム「スタミュ」 ～池袋特別公演 開催の危機を救え！～にてアプリ「COCOAR2」が採用！
7月	ITインフラ	RPA・AIを活用した新ブランド「ReiWorQ（レイワーク）」誕生！
	デジタルM	アニメ『ワンピース』20周年「宴島 2019 真夏のモンキー・D・ルフィ島」に ARアプリ「COCOAR2」が採用！
	デジタルM	「CMS Blue Monkey」が従業員数100名未満の企業における2017年度売上高実績および2018年度売上高予測において、市場シェア1位！
	デジタルM	銀座三越「スヌーピー in 銀座 2019」の AR 企画にてアプリ「COCOAR2」採用！

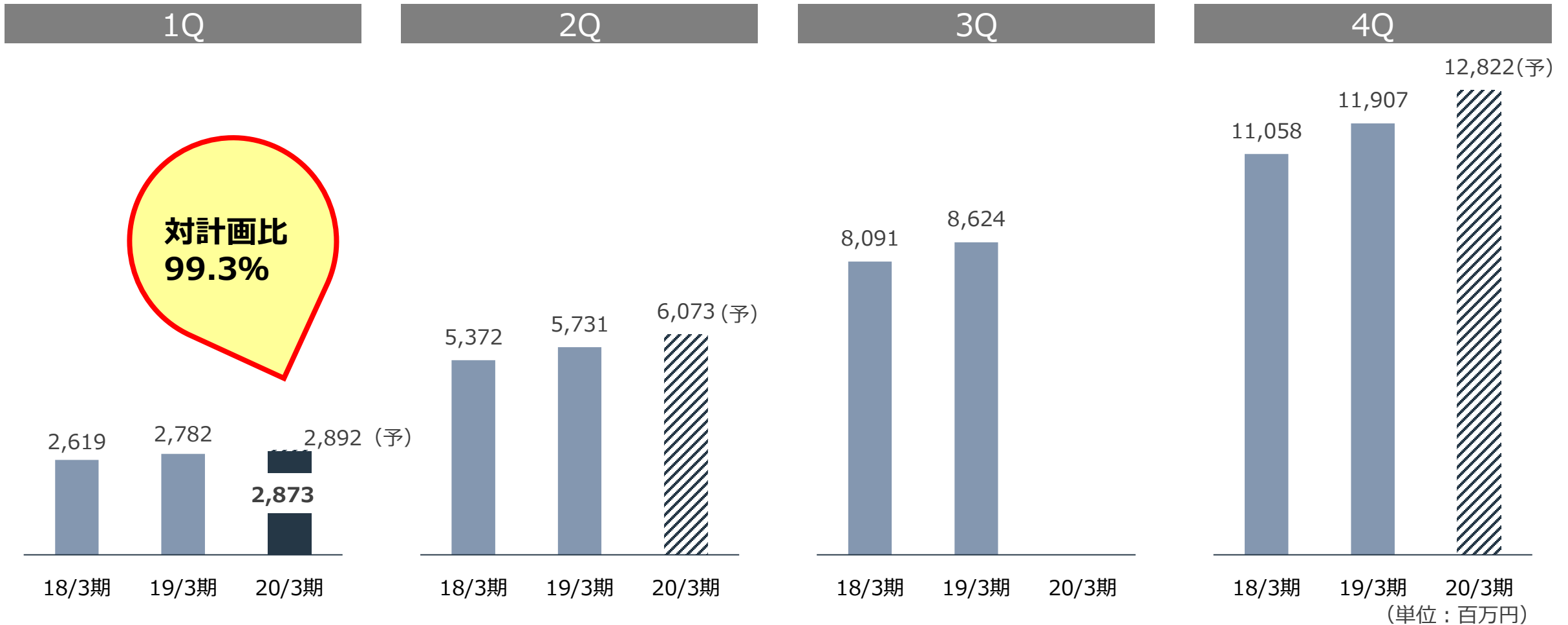
2020年3月期 第1四半期 PLサマリー（前年同期比較）



デジタルマーケティング分野におけるシェア拡大を最優先。売上高はほぼ想定通り（対計画比△0.7%）。

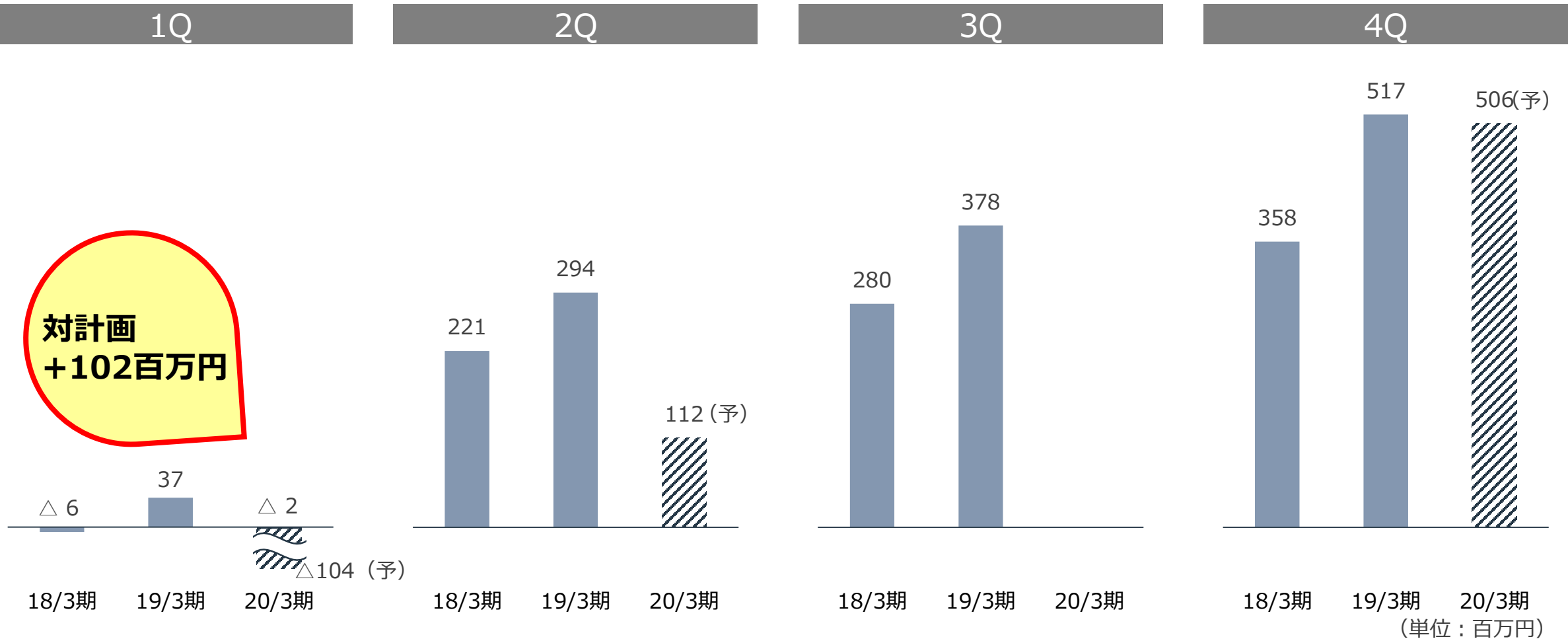
(単位：百万円)	2020年3月期1Q	2019年3月期1Q	増減額	増減率
売上高	2,873	2,782	+91	+3.3%
売上総利益	1,232	1,199	+32	+2.7%
営業利益	△ 2	37	△40	—
経常利益	△ 12	49	△61	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 31	62	△93	—

サブスクリプション型サービスが伸長。ほぼ予算通りの着地

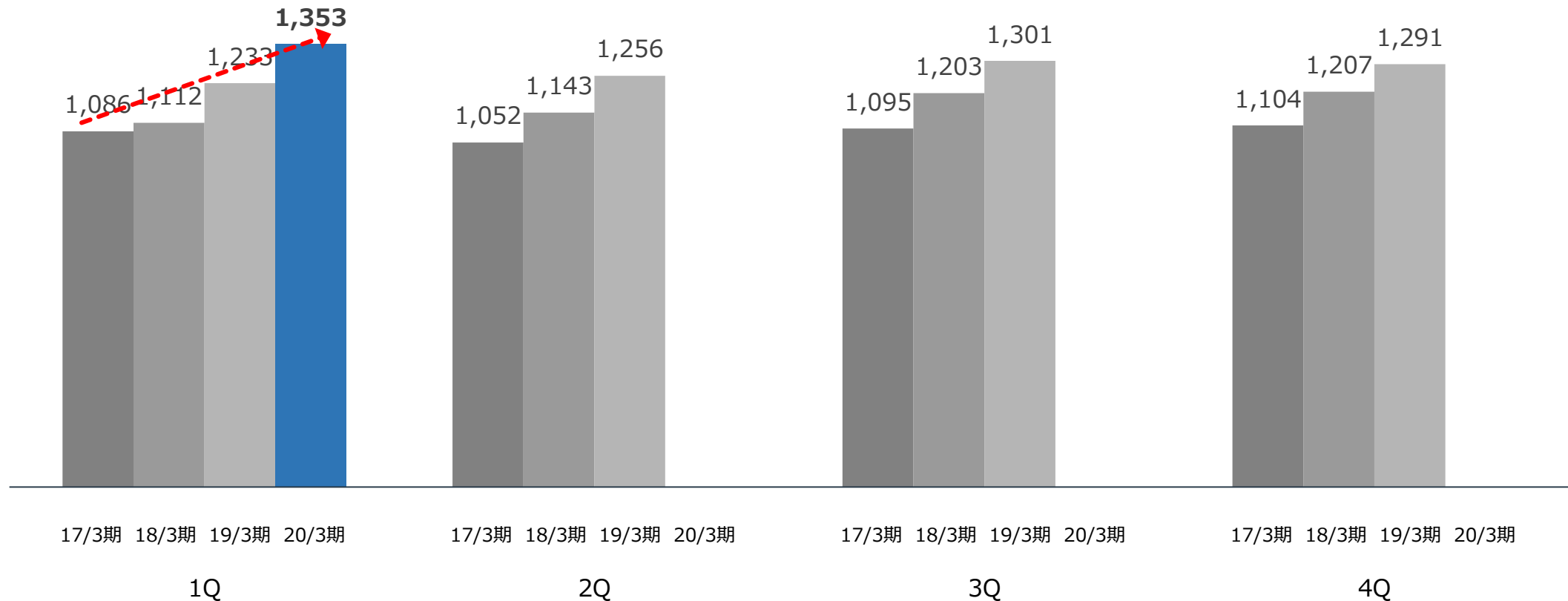


四半期業績推移（連結営業利益 累計期間）

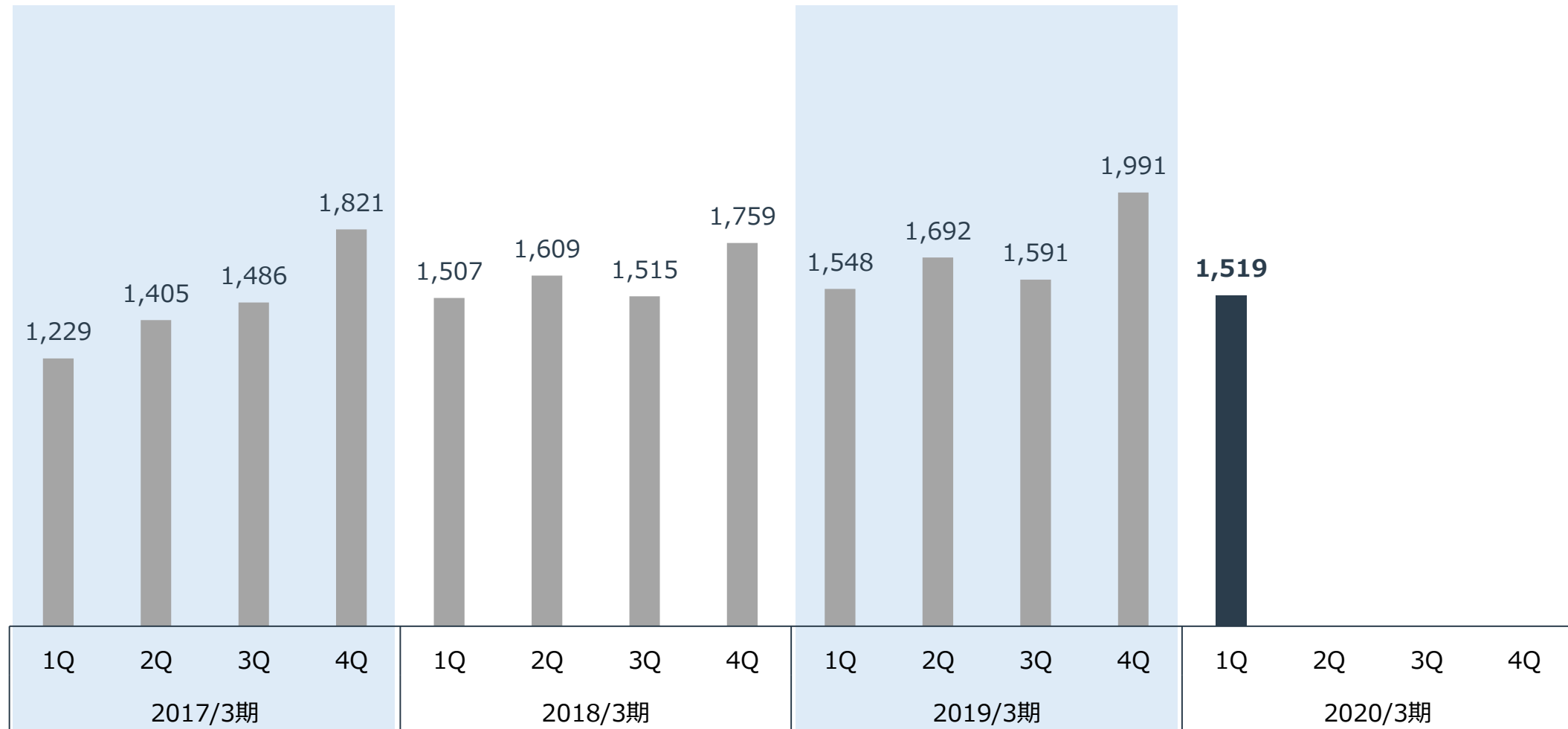
採用費未消化により営業損失は計画に対し約1億円縮小



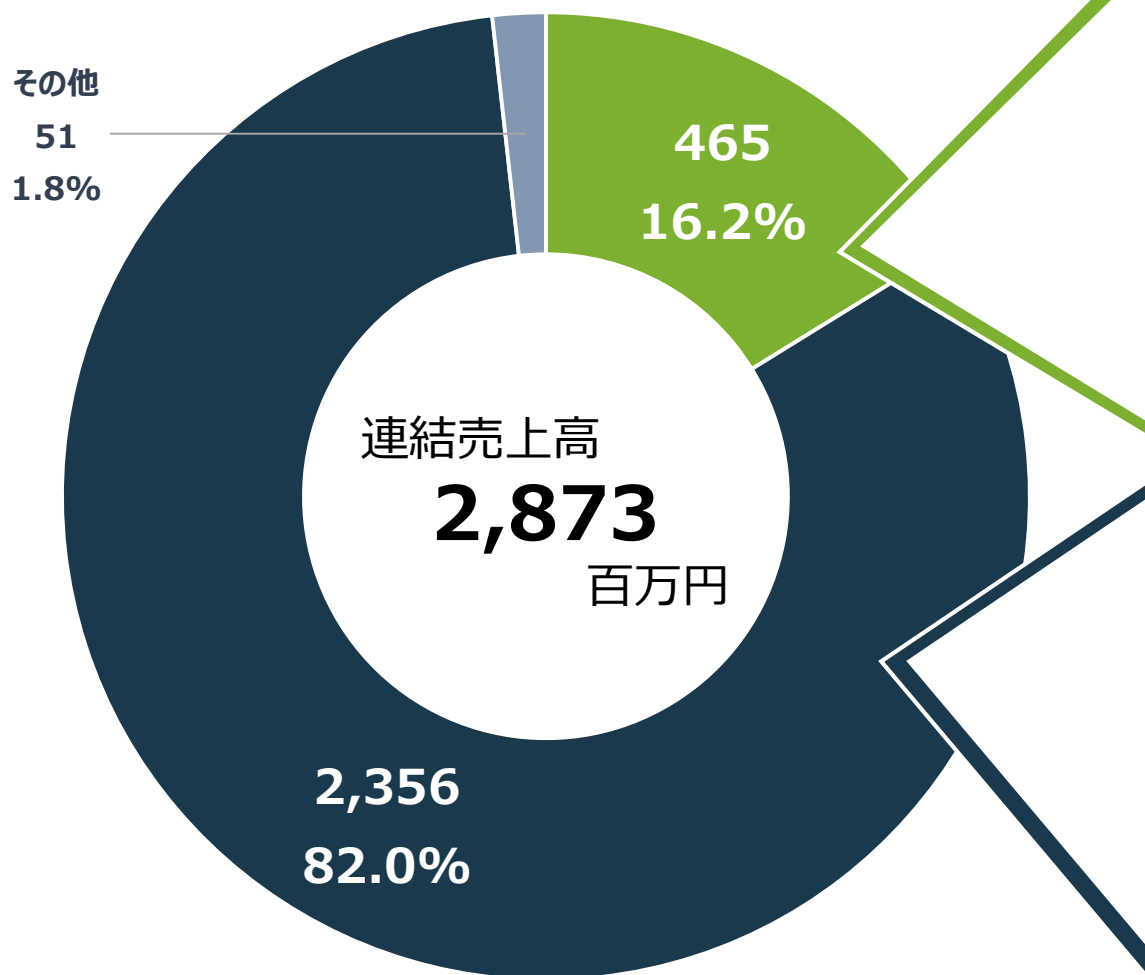
サブスクリプション型売上は取り組み強化により順調に増加



デジタルトランスフォーメーション支援ニーズ増加により増収基調



連結売上高構成比



デジタルマーケティング事業

シェア拡大に注力。サブスクリプション型売上は前年同期比13%増と好調。面を取りに行く戦略として無料から利用できるフリーミアムプラン導入により潜在売上対象である導入社数も増加。一方、スポットの受注減少により減収減益。

売上高：465百万円

セグメント損失：△50百万円

ITインフラ事業

ネットワーク機器等の販売・施工・保守並びにシステムインテグレーションが前年に引き続き好調。また、「ビジネスに役に立つ」を軸として多種多様なサービスを定額で提供する「ビジ助」の導入は順調。

売上高：2,356百万円

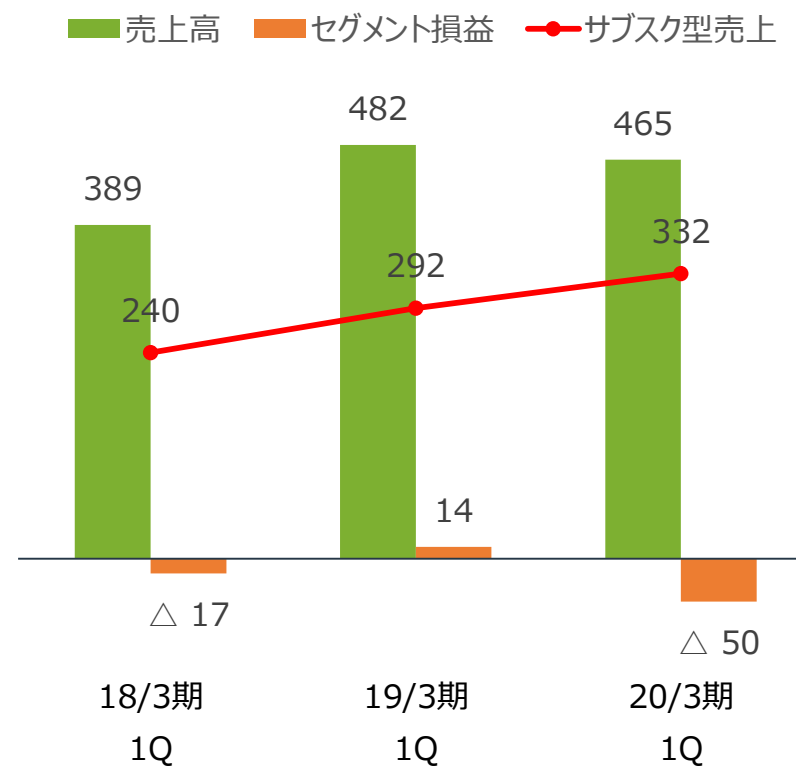
セグメント損失：△1百万円

セグメント状況：デジタルマーケティング事業

	20/3期 1Q	19/3期 1Q	前期比較	前期比 (%)
売上高	465	482	△16	△3.5
サブスクリプション	332	292	+40	+13.7
フロー	133	190	△57	△30.0
セグメント利益	△50	14	△65	—
本社経費等負担額	67	68	△1	△1.5
負担額控除前 セグメント利益	16	83	△67	△80.3

単位：百万円

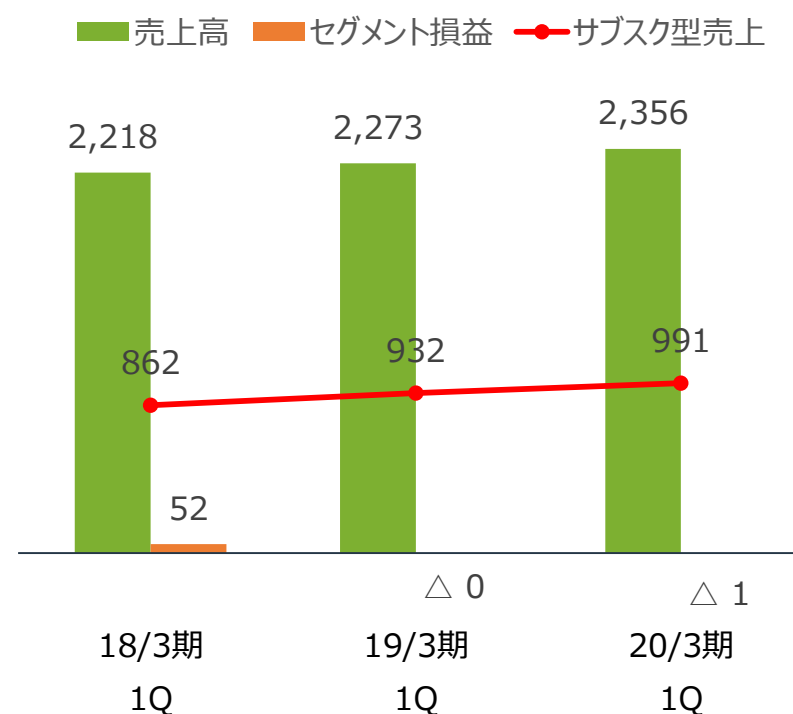
四半期業績比較



	20/3期 1Q	19/3期 1Q	前期比較	前期比 (%)
売上高	2,356	2,273	+83	+3.7
サブスクリプション	991	932	+59	+6.3
フロー	1,365	1,340	+25	+1.9
セグメント利益	△1	△0	△1	－
本社経費等負担額	213	258	△45	△17.4
負担額控除前 セグメント利益	212	257	△45	△17.5

単位：百万円

四半期業績比較



2020年3月期 第1四半期 BSサマリー

【BS】

	2019年3月期末	2020年3月期1Q
資産の部		
流動資産	6,119	5,218
固定資産	2,098	2,038
資産合計	8,218	7,256
負債の部		
流動負債	2,742	2,031
固定負債	845	697
負債合計	3,588	2,728
純資産の部		
株主資本	4,431	4,354
自己株式	△304	△290
その他	198	173
純資産合計	4,629	4,528
負債・純資産合計	8,218	7,256

主な増減要因

現金および預金：309百万円減少
受取手形および売掛金：303百万円減少

買掛金：125百万円減少
未払法人税等：198百万円減少
賞与引当金：172百万円
役員賞与引当金：28百万円

長期借入金：124百万円減少

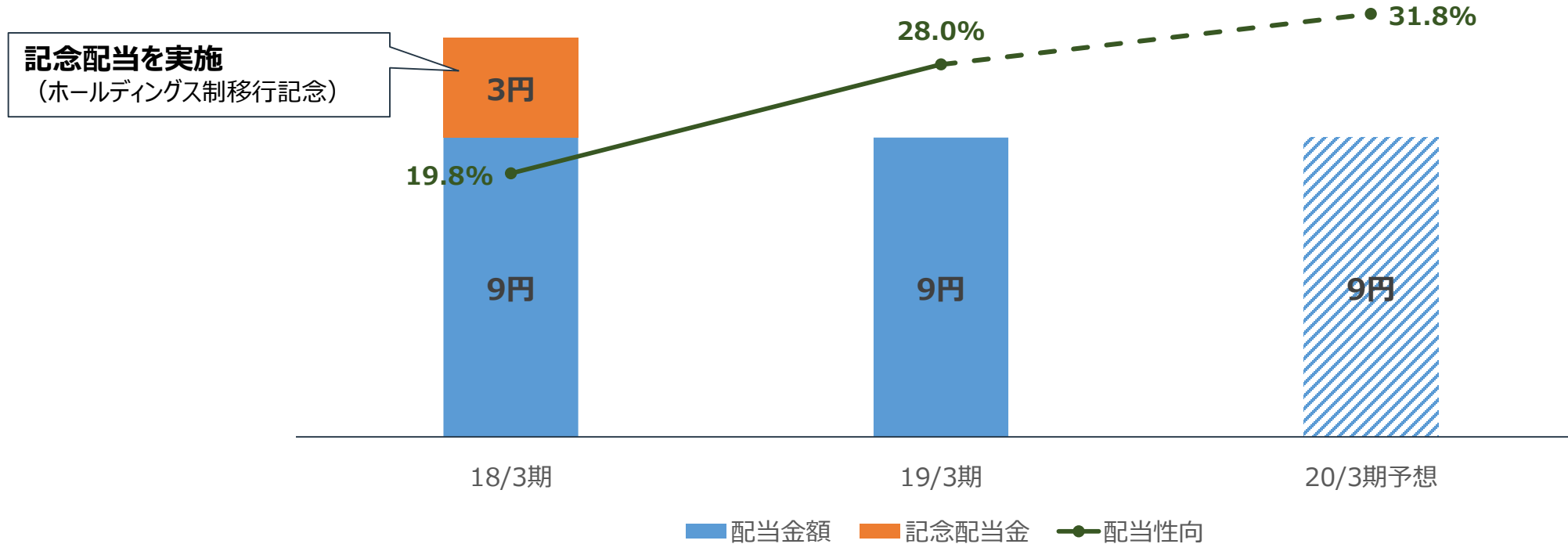
親会社株主に帰属する四半期純損失：31百万円計上
配当金の支払：59百万円

2020年3月期 通期事業計画

事業拡大に向け投資先行フェーズのため増収減益の計画

(単位：百万円)	2020年3月期計画	2019年3月期実績	増減率
売上高	12,822	11,907	+7.7%
デジタルマーケティング	2,387	2,054	+16.2%
ITインフラ	10,294	9,709	+6.0%
営業利益	506	517	▲2.2%
経常利益	504	573	▲12.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	290	323	▲10.3%

長期的に安定した配当を行う方針のもと、2020年3月期は
一株当たり配当金9円（うち中間配当金3円）を予定



Appendix

市場環境

急拡大が予測されるデジタルマーケティング市場、2022年630億円。

<デジタルマーケティング定義>

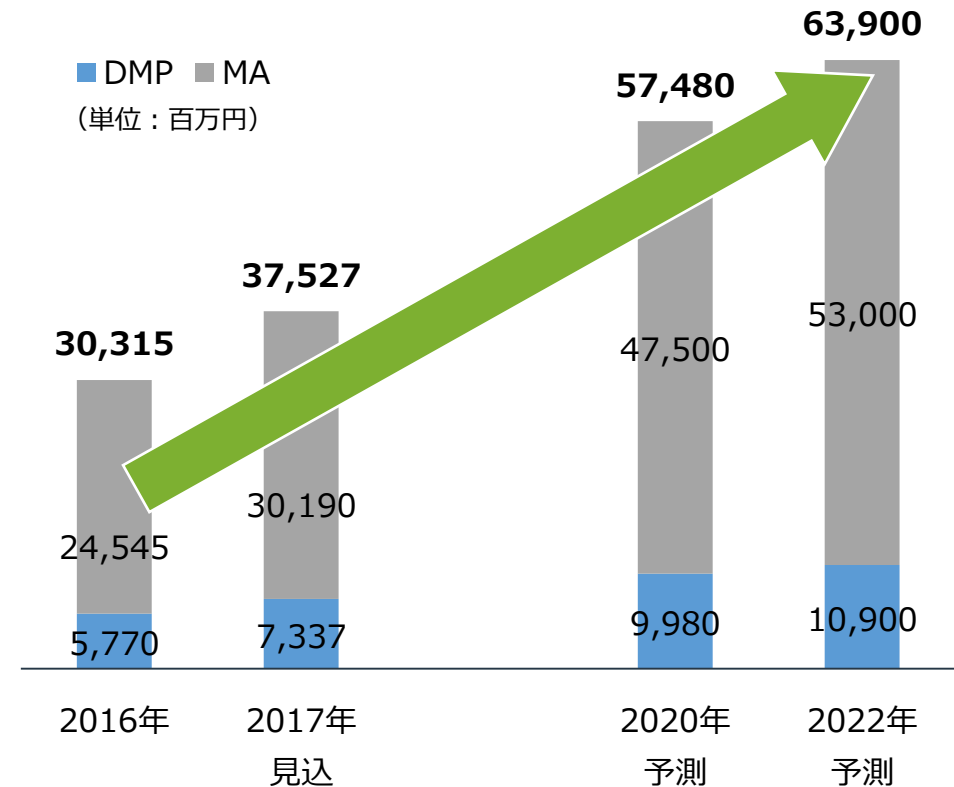
デジタルマーケティングとは、企業が自社や第三者が保有するデータを活用して、製品やサービスのマーケティングを行い、消費者に到達させる手法。

<DMP (Data Management Platform) >

様々な販売チャネルにおける顧客の行動データを集約して分析することで、顧客の特徴を明らかにし、広告、メール、DMなどのマーケティング施策を最適化するシステムやサービス。

<MA (Marketing Automation) >

大量の見込み顧客や既存顧客を一元化し、自動的に評価し、設計したシナリオに基づいて、シナリオを自動実行させ、顧客を個別に育成することで確度の高い商談を創出するシステムやサービス。

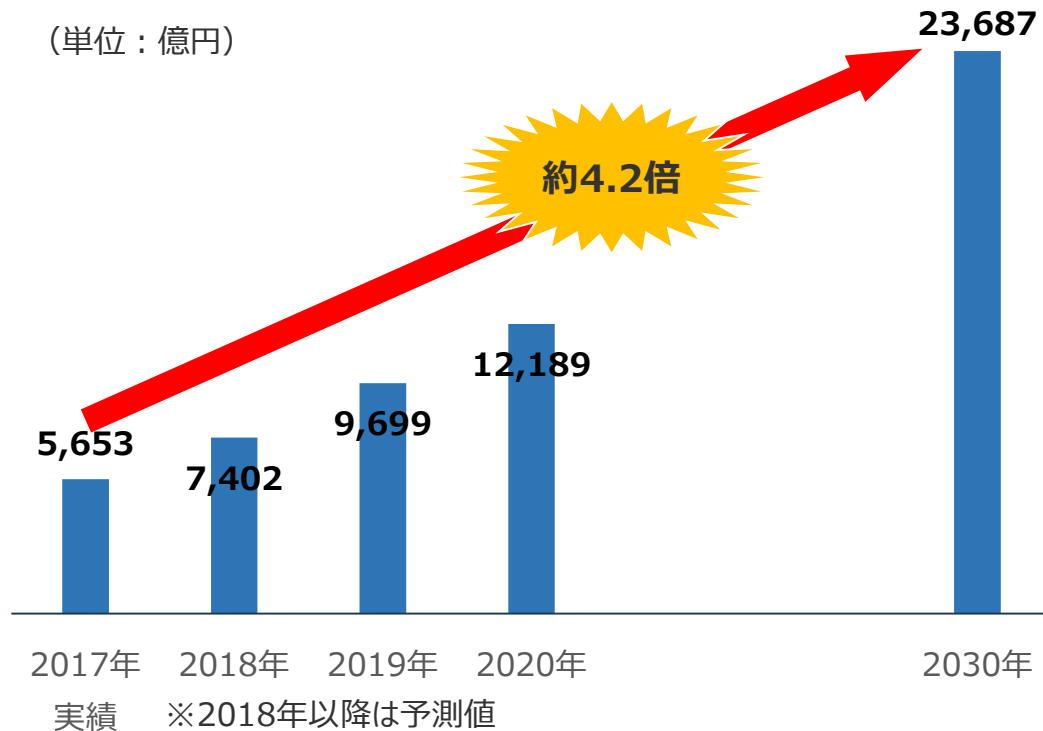


出所：矢野経済研究所「2017 年版DMP/MA 市場～デジタルマーケティング市場の現状とビジネス展望」より当社作成

益々拡大する中小企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）ニーズ

国内DX市場の市場規模

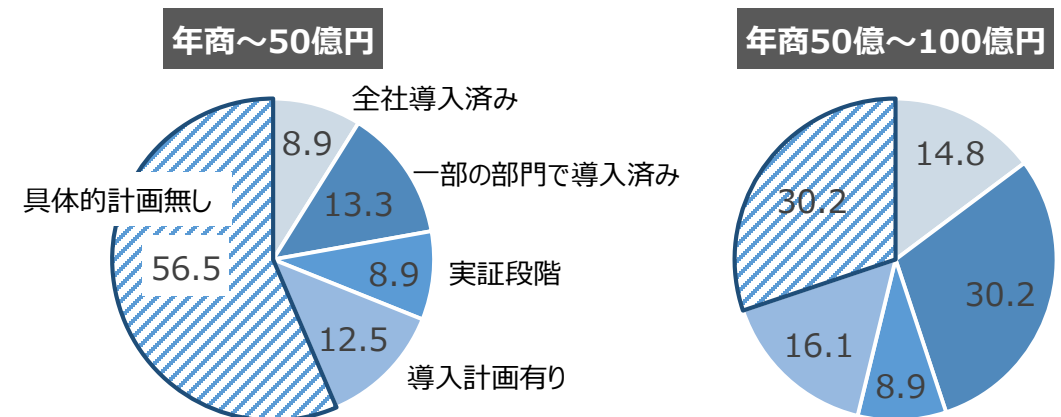
(単位：億円)



出所：富士キメラ総研『2018デジタルトランスフォーメーション市場の将来展望』より当社作成

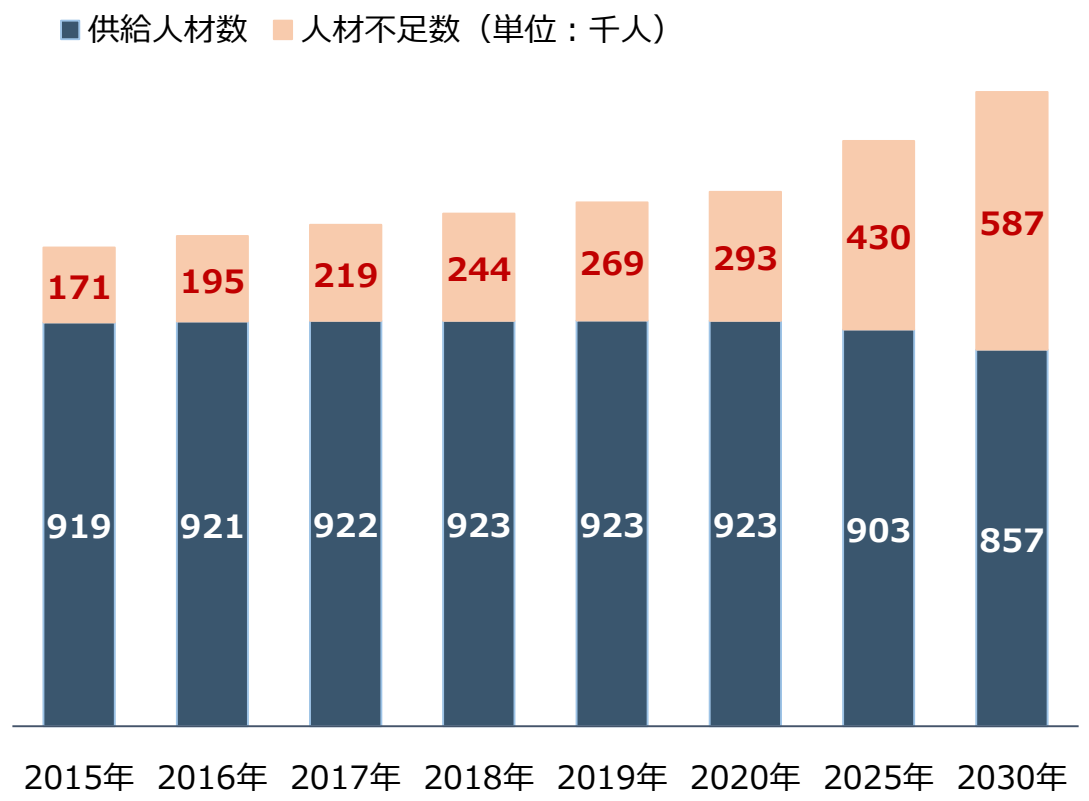
約28万社ある年商3億円～100億円の中小企業のDXはこれから

年商100億円未満企業のDX状況



出所：株式会社情報通信総合研究所データより当社作成

IT人材ニーズと供給人材数の需給ギャップ拡大は中小企業のDXの足かせ



出所：経済産業省 IT人材の最新動向と将来推計に関する調査結果（2016年6月）より

スターティアホールディングス株式会社 IR窓口

〒163-0919東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モリス19階

TEL 03-5339-2109（平日9時～18時）

MAIL : ir@startiaholdings.com スターティアホールディングス

IR情報ホームページ <https://www.startiaholdings.com/ir.html>

当資料は、当社の現状をご理解いただくために当社が作成したものです。当資料に含まれる情報は当社内の知見及び当社が入手可能な公開情報等から引用したものであり、これらの正確性について当社は保証しません。また、当社の実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。